DAIKEN

施工説明書
施工業者様用

※この説明書には扉の調整方法・お手入れ方法が記載されています。
お施主様へは別添の取扱説明書を必ずお渡しください。

ダイケンクローク収納
折戸ユニット
（四方枠、下レール付三方枠）

もくじ

製品寸法図
納まり図
ホルムアルデヒド発散区分資料
梱包部品の確認
安全上のご注意
施工上のご注意
本体の組み立て
扉の取り付け
扉の調整

警告表示の種類と内容

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

■危険の定義とシンボルマーク
誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

⚠ 注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■警告図記号について
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

「してはいけない」を示します。	「注意すること」を示します。	「必ず行なっていただくこと」を示します。

■施工の際は以下の工具をご用意ください。
- 電動ドリル（＋2番ビット）
- 水準器
- 下げ振り
- 丸ノコ
- ハンマー

大建工業株式会社

250228-JK-001CLORTSM

■定期的な点検項目

※製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。
経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象
吊車	吊車が扉から抜けかけているか	有・無	・扉のガタツキ、脱落
ガイドローラー	扉がスムーズに動くか	有・無	・扉のガタツキ

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！
登録はこちらから
https://www.daiken.jp/qr/user/

木質材料の性質について

木質収納扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた収納扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、収納扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、収納扉の室内側と収納庫側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。
「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、収納扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と収納庫側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
③収納扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と収納庫側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

製品の保証について

製品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品
クローク収納

■保証事項
通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間参照）を無料で修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

■保証期間
製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。
①建物の設計・施工に起因する不具合
②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合。
⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化腐耗などの不具合
⑩用途外に使用された場合の故障および損害
（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
⑫保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
⑬仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
⑭保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
⑮製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
⑯離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
⑰その他当該不具合の発生が弊社の責にあらない場合
※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

お問い合わせ窓口について　●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ
DAIKENお客様センター
0120-787-505（フリーダイヤル）
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆は約休みをいただいています）
https://www.daiken.jp/qr/form01/
メールで写真も送ることができます。

修理・交換部品のご購入の方は
DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
※購入に際しては登録が必要です。
https://www.daiken.jp/qr/service/
DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。
「大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。」なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくときのためにナンバーディスプレイを採用しています。また相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社　DAIKENのホームページアドレス　https://www.daiken.jp/

2025.02 現在

製品寸法図

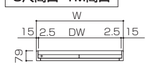
250228-JK-001CLORTSM

寸法表

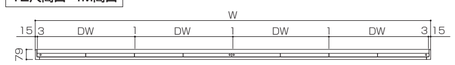
呼称DK	枠外幅	扉幅	枠-扉間
3尺間口	735	700	2.5
4.5尺間口	1190	577	2.5
6尺小間口	1644	804	2.5
6尺間口	1680	822	2.5
9尺間口	2450	804	3
12尺間口	3327	822	3
1M間口	820	785	2.5
1.5M間口	1320	642	2.5
2M間口	1820	892	2.5
3M間口	2714	892	3
4M間口	3607	892	3

※メーターモジュールは
イエリアスタンダード フラット扉のみ。

3尺間口・1M間口

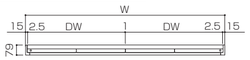


12尺間口・4M間口



4.5尺間口・1.5M間口

6尺小、6尺間口・2M間口



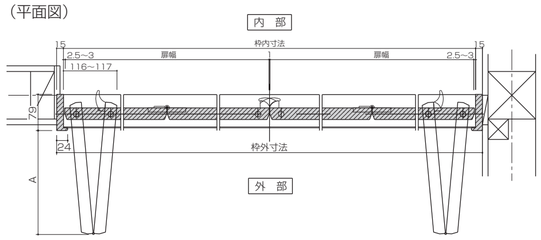
9尺間口・3M間口

納まり図

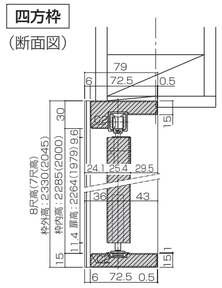
250228-JK-001CLORTSM

固定枠

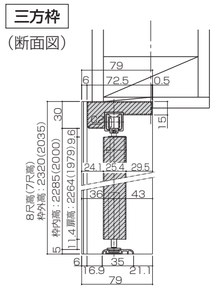
（平面図）



四方枠
（断面図）

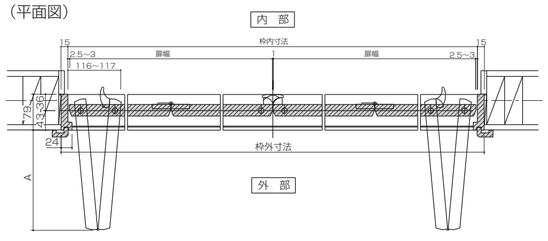


三方枠
（断面図）

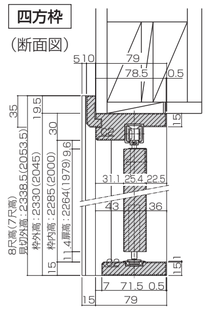


見切枠A

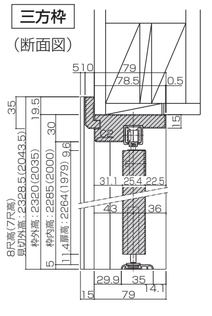
（平面図）



四方枠
（断面図）

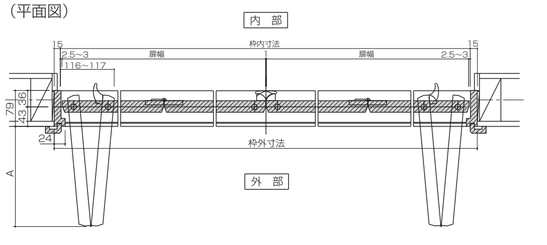


三方枠
（断面図）

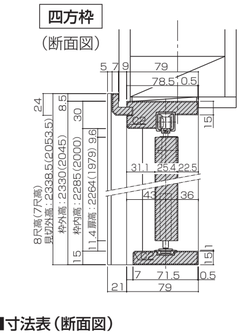


見切枠B

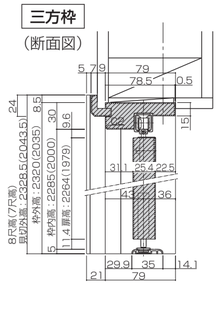
（平面図）



四方枠
（断面図）



三方枠
（断面図）



■寸法表（平面図）

尺モジュール

		3R	4.5R	6R小	6R	9R	12R
枠外寸法		735	1190	1644	1680	2450	3327
枠内寸法		705	1160	1614	1650	2420	3297
扉　幅		700	577	804	822	804	822
A寸法	固定枠	289.2	227.2	341.4	350.5	341.4	350.5
	見切枠	282.2	220.2	334.4	343.5	334.4	–

メーターモジュール ※固定枠のみ

	1M	1.5M	2M	3M	4M
枠外寸法	820	1320	1820	2714	3607
枠内寸法	790	1290	1790	2684	3577
扉　幅	785	642	892	892	892
A寸法	331.9	260	385.6	385.6	385.6

■寸法表（断面図）

四方枠

	製品高	枠内寸法	扉　高
8尺高	2330	2285	2264
7尺高	2045	2000	1979
6尺高	1800	1755	1734

※6尺高は固定枠のみ

三方枠

	製品高	枠内寸法	扉　高
8尺高	2320	2285	2264
7尺高	2035	2000	1979
6尺高	1790	1755	1734

※6尺高は固定枠のみ

ホルムアルデヒド発散区分資料

施工業者様用

DAIKEN クローク収納	F☆☆☆☆（住宅部品表示ガイドラインによる）

この度はDAIKEN クローク収納をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の様になっております。建築確認の際に本資料をご利用ください。

●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外（F☆☆☆☆）

構成部位	内装仕上げ部分（表面）		内装仕上げ部分（裏面）	
	材　料 発散区分	備　考	材　料 発散区分	備　考
①扉：面材	化粧MDF 規制対象外（F☆☆☆☆）	日本建材・住宅設備産業協会 表示登録品：K-002058	表面と同じ	表面と同じ

規制対象外部位・告示対象外

枠・見切	規制対象外部位：規制対象外(F☆☆☆☆)　同等品質材料を使用
丁番・吊車・レール　他金具	告示対象外

◎製品に関する情報・お問い合わせ　最寄の弊社営業所（施工説明書に記載）に問い合わせいただくか、弊社ホームページ（https://www.daiken.jp/）をご利用ください。

梱包部品の確認

250228-JK-001CLORTSM

組み立て前に部品数を確認してください。

扉	扉本体	1	–
	ベースカップ	2	（扉取付済）
	センター丁番	3	（扉取付済）
	ガイドローラー	2	

	名　称	四方枠				三方枠				備　考
		3尺 1M	4.5尺・ 6尺小・6尺 1.5M・2M	9尺 3M	12尺 4M	3尺 1M	4.5尺・ 6尺小・6尺 1.5M・2M	9尺 3M	12尺 4M	
枠	上　枠	1				1				–
	下　枠	1				–				–
	縦　枠	2				2				–
	上レール	1				1				
	上レール取付ビス	5	8	10	13	5	8	10	13	トラスビスφ3.8×40
	下レール	1				1				四方枠用　三方枠用
	下レール取付ビス	5	8	10	13	5	8	10	13	四方枠：皿ビスφ3.1×16 三方枠：皿ビスφ3.1×20
	吊　車	2	4	6	8	2	4	6	8	
	仮固定ストッパー(上)	1	2			1	2			
	仮固定ストッパー(下)	1	2			1	2			
	召し合せ	—	2	4	6	—	2	4	6	左右共通
	召し合せ取付ビス	—	4	8	12	—	4	8	12	トラスビスφ3.5×16
	枠組立ビス	8				4				長押ビス　3R～2M：φ4.2×38 9R～4M：φ3.8×50
	枠調整ビス	8				8				φ4.5×44
	ビスキャップ	8				8				–
	レール施工型紙	–				1				–

＜見切枠の場合＞

		3尺幅	6尺幅	9尺幅	
見切	縦見切	2 (L=2370)	2 (L=2370)	2 (L=2370)	見切A　見切B
	横見切	1 (L=860)	1 (L=1742)	1 (L=2500)	

※ハンドルは別梱包になります。

安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

⚠注意

●扉と扉の間の隙間が広くなるような加工は絶対にしないでください。広がると乳幼児が指を挟むおそれがあります。

●ビスの締めつけ不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。
製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

お願い

扉は上吊式です。
上枠を取り付けるまぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。
梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

上レールの木ネジは、必ず同梱のナベビス（ℓ＝40）を使用し、空回りしないよう取り付けてください。
短いネジを使用するとレールがはずれ、扉がスムーズに開閉できません。

7尺高の枠は、6尺高と兼用です。
6尺高の扉をご使用の場合は、組み立て前に、縦枠の切断が必要です。

扉を吊り込むまでの間、製品を立てかけたり、不安定な場所に置かないでください。扉の反り・キズの原因になります。

施工～引渡しの間、長時間直射日光が当たったり、室内が高温多湿になる場合は、扉の養生や室内の換気を行ってください。
扉が反る原因になります。

扉表面に養生テープなどを直接貼らないでください。

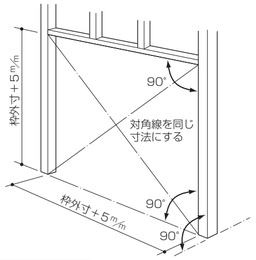
廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および地方自治体の規制に基づき適切な処理をおこなってください。

吊車や丁番などの部品に、木粉や石こうボードのくずが入りこまないように注意してください。動作不良や異音の原因となります。

施工上のご注意

開口部の準備

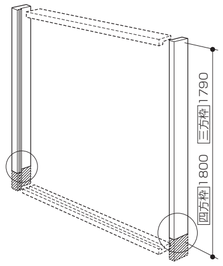
- 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。
- 開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を下げ振り・水準器でよく確認してください。
  垂直、水平が出ていないと、上下ストッパーのキャッチ力が不足し、ピボット扉として開閉する際に扉がキャッチから外れる場合があります。



	3尺間口 1M間口	4.5尺間口・6尺間口 1.5M間口・2M間口	9尺間口 3M間口	12尺間口 4M間口
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上	105×300mm以上	105×360mm以上

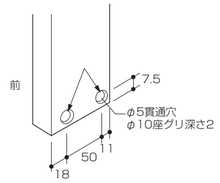
施工の前に

6尺高の扉をご使用の際は縦枠を切断してください。



《枠下部現場加工》

固定枠四方枠

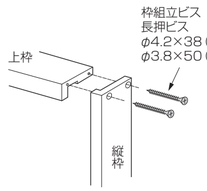


本体の組み立て

枠の組立て・施工手順（方法）

1. 枠の組立て

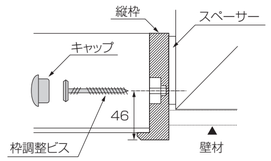
※図は固定枠です。
※四方枠の縦枠に上下はありません。



ビスの固定にトルク設定の強い電動ドリルや、インパクトドライバーは使用しないでください。

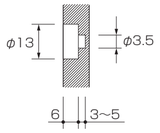
2. 縦枠の取付け

※図は固定枠です。



枠と柱の隙間を調整したあと、隙間に接着剤を塗ったスペーサーを図のような幅で入れ、ビスで締め付けてください。

＜6尺高の場合の現場加工＞
縦枠下より150mm、前面より46mmの位置で内側よりφ13、深さ6mmのリード穴を開けビス固定してください。

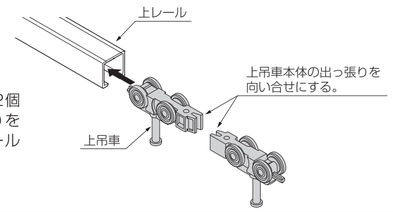


3. 上吊車、仮固定ストッパーの取付け

レールを枠に取付ける前に、上レール内のゴミを除去し、上吊車・仮固定ストッパー（上）を挿入してください。

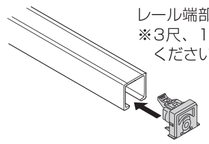
■上吊車の挿入

⚠ 扉1setにつき、上吊車2個を本体の四角の出っ張りを向い合せにして、上レールに差し込んでください。



■仮固定ストッパーの取付け

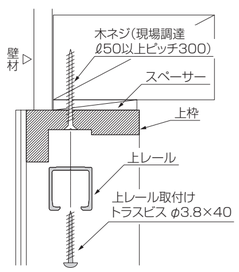
レール端部に仮固定ストッパーを押し込む。
※3尺、1M間口の場合は吊元側に取付てください。



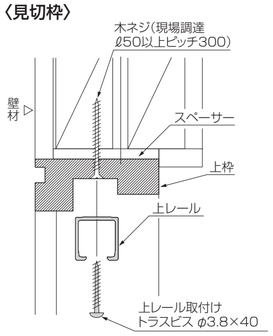
⚠ 部品の上下の向きに注意してください。

4. 上枠・上レールの取付け

〈固定枠〉



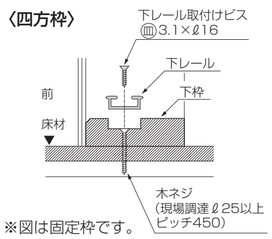
〈見切枠〉



枠とまぐさの隙間を調整したあと、隙間に接着剤を塗ったスペーサーを図のような幅で入れ、ビスで締め付けてください。

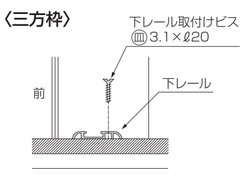
5. 下枠・下レールの取付け

〈四方枠〉



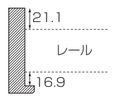
※図は固定枠です。

〈三方枠〉

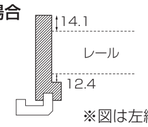


⚠ レールの前後に注意して、施工用型紙を使って取付けてください。

・固定枠の場合



・見切枠の場合

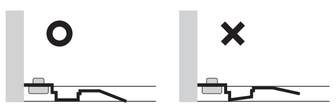


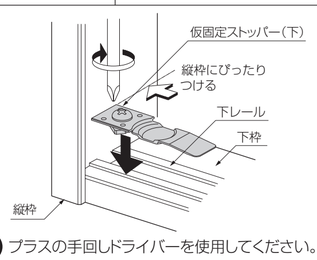
※図は左縦枠の場合

6. 仮固定ストッパー（下）の取付け

※図は固定枠の四方枠です。

仮固定ストッパー（下）の先端が下レールにぴったりついていることを確認してください。先端が浮いていると、スムーズに開閉できなくなるおそれがあります。

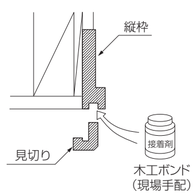




プラスの手回しドライバーを使用してください。

7. 見切りの取付け ※見切枠の場合

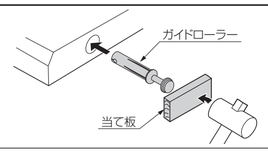
壁の施工が終わってから、枠寸法に合わせて加工し、取付けてください。



扉の取り付け

1. ガイドローラーの取付

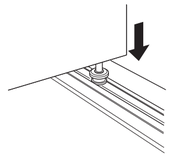
当て板をあてて扉下部にガイドローラーを打ち込んでください。
※ガイドローラーを直接叩くと破損する場合があります。
必ず当て板をあててください。



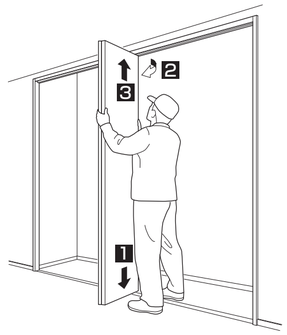
※つばに引っかかって止まるまでしっかりと打ち込んでください。

2. 下レールへの落としこみ 1

下レールにガイドローラーを落とし込んでください。

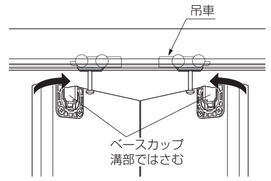


■扉の取付手順



3. 吊車のはさみ込み 2

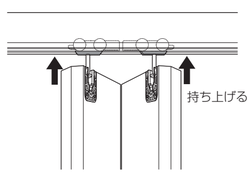
吊車の軸を扉のベースカップ溝部ではさみ込んでください。



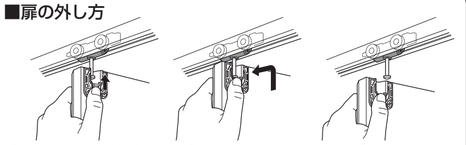
4. 扉の持ち上げ・扉の吊り込み 3

扉を持ち上げて、扉を吊り込んでください。
吊車の軸がしっかりと嵌合されていることを確認してください。

⚠注意 扉が確実に取付いていることを確認してください。確実に取り付いていないと、扉が落下し、ケガをするおそれがあります。

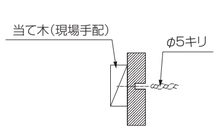


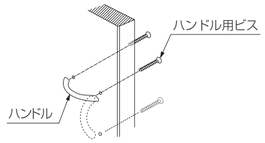
■扉の外し方



5. ハンドルの取付け

ハンドルの取付け位置（左右、縦横）を決め、扉裏面のリード穴をφ5のキリで貫通させ、ハンドルを取り付けてください。





※ハンドルは扉1セットに1個です。

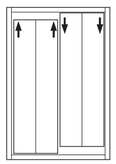
ウッド扉	右ミラー扉
ハンドルは左右どちらにでも取り付け可能ですが、両端の扉は吊元とは逆の位置に取付けてください。	ハンドルは左側に取り付けてください。

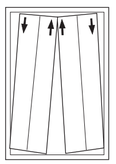
※カマチ扉は扉梱包の上下パッドの中に入っている専用ビス（M4×L12）をお使いください。

扉表面に当て木（現場手配）をあて、バリの発生を防いでください。

6. 扉位置の調整

◆扉に段差、傾きがある場合は、まず上吊車を調整し、次に仮固定ストッパー（下）の位置を調整してください。

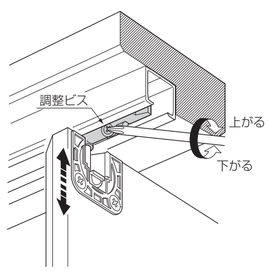




上吊車の調整方法

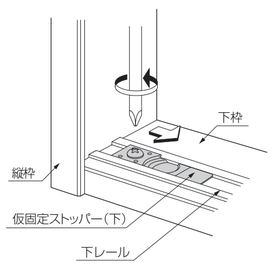
上下調整（調整量6㎜）

上吊車の調整ビスをプラスの手回しドライバーで回してください。



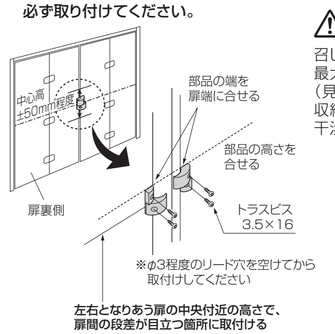
仮固定ストッパー（下）の調整方法

プラスの手回しドライバーでビスをゆるめて仮固定ストッパー（下）の位置を調整し、再度締め付けてください。



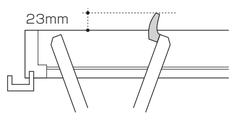
7. 召し合せの取付け ※3尺間口、1M間口の場合は除く

◆召し合せ部品は右側と左側の折れ戸扉の段差を軽減するための部品です。必ず取り付けてください。



⚠注意

召し合せは開閉軌道上で、上枠より最大23mmはみだします。
（見切枠の場合。扉折時は16mm）
収納内部の棚板、中仕切り板は干渉しない位置に取付けてください。



（固定枠の場合
開閉軌道上：最大16mm
扉　折　時：9mm）

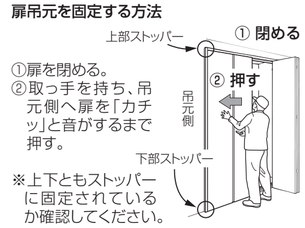
8. フリー扉・ピボット扉の切換え

扉吊元の固定を解除する方法

①扉を折りたたむ。
②両手で扉をかかえこみ、扉中央より上側を引き、続けて下側を引く。

吊元が解除されフリーに走行できるようになります。

扉吊元を固定する方法

①扉を閉める。
②取っ手を持ち、吊元側へ扉を「カチッ」と音がするまで押す。

※上下ともストッパーに固定されているか確認してください。